

西小は おおきな 家族
Family
～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 9 月 3 日 (月) No.23
発行人

稲刈り終わったけど台風が心配な
川崎先生。ウシ倒れませんように。

◆2 学期も相変わらず毎日が発見の日々◆

・夏休み明け、最初のジャンケンは瞬殺で全敗(T_T)。2 日目も全敗。3 日目も全敗。おいおい、そうは言っても普通は少しは勝つものだろう。テクニクとかあるわけじゃないし。単なる運なのに……。川崎には運がないのか。いや、これはきっとコツコツと運を貯めているのに違いない。ここぞという時に、最大限の運を引き出せればいい。BIG とか。年末ジャンボとかで(^-)

・職員室から出がけの川崎をつかまえて、握手しながら“いってらっしゃい”と言う 2 年生男の子。あっ、は、はいっ(・・)。いやあ、大人だね～。恐縮恐縮<(_)>

・火曜日の読書の時間は、1～5 年生まで保護者による読み聞かせ。きっと保護者の皆様も、“どんな本がいいかなあ～”と悩んだに違いない。でも、とても面白くて興味深い本を準備してくださり、本当にありがたいありがたい。子どもたちも、目を輝かせて聞いている(そう言えば、川崎も娘が小さいころ読み聞かせしたけど、とても喜んだことを思い出した。“バムとケロ”のシリーズや“はらぺこ青虫”なんか読んであげたら喜んだなあ。なつかしいなあ。……。(-。-)y° ° 遠い目……)。

・「校長先生一っ。%&~#\$X@~。そしてねっ#~%\$&@。テレビでね%?\$&*~<~……」。「へえ～、そうなんだ。テレビでね～。良かったね～」。聞き取れた単語だけで返事をする。私は罪深い人間です、はい。

・8 月は朝とはいえ、すでに暑い。登校してくる子どもたちの顔が疲れている。特に低学年の子は顕著だ。声をかけても無言で通り過ぎる子、校門の手前で座り込んで休む子、口を半開きで肩で息をする子。でも来る日も来る日も歩いて通ってくる。しかし高学年になるとまったく“へっちら”。これだけのアップダウンの通学路を毎日歩くのだから、それだけで体カトレーニングだもんね。

・図書室で会議をしていた。5 年教室から友達と会話しながら出てきた男の子たち。図書室の会議に気づいた瞬間に口を指で押さえ、抜き足差し足で通って行く。この臨機応変な態度はあっぱれ(^)v

・1 年生の集団下校の時にちょうど出張から戻ってきた。ナイスタイミング。さあさあハイタッチ！素直に全員がハイタッチして元気に帰っていく。よかよか^m^。これが中学生くらいになると、なかなか出来なくなっちゃうのはなぜ？高校生になると絶対しないよな。恥ずかしさが出てくるんだろうね。話変わって、マラソン大会のゴール近くになると、応援の人たちが“がんばれ”の意味を込めてハイタッチの手を伸ばしてくれる。いつも何十人もの人たちとハイタッチしまくる川崎です。

・私事です。8 月に 2 本の奥歯を抜歯しました。ここからが地獄の始まりです。8 月 10 日から、毎日毎夜激痛に襲われています。月末には医大にも行きました。「とりあえず薬で様子を見ましょう(・o・)。「もう十分様子は見てますが(T_T)。「薬は必ず 6 時間おきに飲んでください(・o・)。「その間もすごく痛いんですが(T_T)」。……。毎日毎日生きていることを実感しております、はい。もう悪いことはしません、はい。